

地域の皆様と一緒に安全な道づくりを考え、交差点改良を実施しました。

- 照明の新設で、夜間の交差点の視認性が向上
- 右折レーン、路面標示の新設で、交差点の通過時間が減少
- 各種対策の結果、交差点通過時のブレーキ点灯回数が激減

◆現地調査での意見

- ・自転車の通行性、視認性のため、通行帯を設けるべきでは。
- ・自転車等の灯火・反射装備啓発も必要。

- ・ガソリンスタンドの照明が明るい
- ・道路照明が暗い

- ・路面の凹凸、ひび、わだち
- ・スリップを防止する舗装が必要。
- ・環状通工事中の際、先詰まりがひどく国道12号からの左折も渋滞。

- ・右折車線は必要。
- ・右折車の交差点内での導流が必要。
- ・照明の機能の明確化が必要。

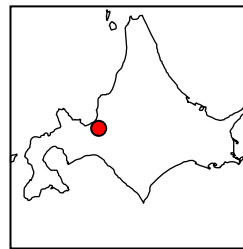
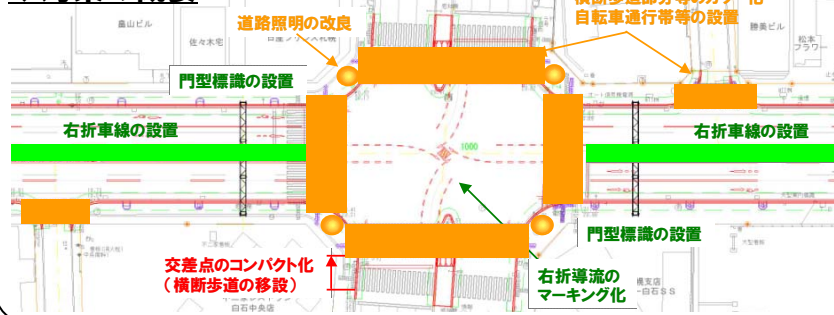
- ・本来であれば立体交差。
- ・最低限、右折車線は必要。

- ・信号機が見づらい
- ・注意喚起のためのカラー化も有効

- ・横断歩道の位置が奥。位置が不均一。
- ・横断歩道位置を交差点中心側にずらしコンパクトに、コンパクト化にも一長一短あり。
- ・横断歩道の青時間が短い。
- ・歩車分離信号機・スクランブル交差点
- ・教職員の砂掃き活動、砂箱設置等。

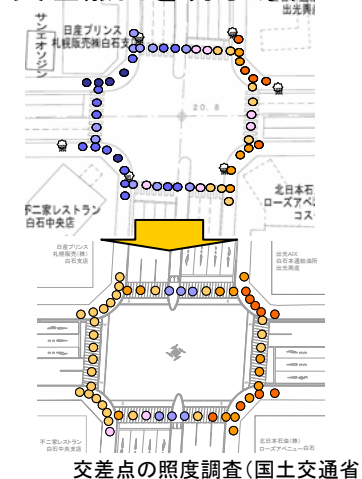


◆対策の概要



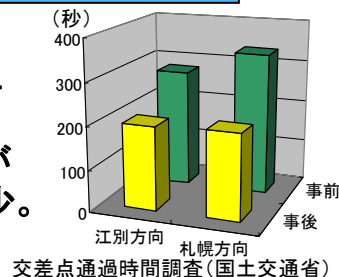
歩きやすい交差点に

夜間の視認性向上を
目的に照明を新設。
交差点内を明るく安全に。



交差点の通過時間が減少

交差点を
スムーズに
通過。
通過時間が
3～4割減少。



ブレーキ点灯回数が激減

対策の結果、
混雑時の
ブレーキ
点灯回数が
激減。

